帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

情報と職業
キャリア、業界と職種

中野秀男
情報メディア学科

今日の話

- 前回の質問
- キャリア
- 業界と職種
- 情報メディアで変わる仕事感

帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

質問(1)

- まだ就職先はよくわからないが、この時点でまずいか
- キャリアセンターは何をしているのかわからないので、行くに行けない
- ツール系を勉強したいが、どこで働くかわかってない
- IT関係の仕事に就きたいがどのような資格がいいか
- 映像の仕事は才能がないといけないが、才能がなくても行きたい場合は
- 映像の就職はブルーカラーを言われたが納得したらいいか
- 情報の職業はどんなものが
- 映像のようなクリエイティブな仕事もAIに変わるのか
- ITでない会社はITプラス何か、さらに勉強か

帝塚山学院大学
TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

質問(2)

- この講義でどのような職業にしていくか決めていきたい
- 現実をいっぱい見ると萎えて来るけど、色々知りたい
- 自分がやりたい仕事ならお金は気にならないが、何をするにしてもお金は必要
- 大企業で中野が一番印象に残っている会社は
- 3年でやめたら次の就職はなさそうだが
- 外国人が永住権をとって日本で働く場合に労働環境に疑問を抱かないか
- 電通は事件を起こしたが、仕事がなくなることはあるか
- アメリカの就職と日本は違っている
- 普通の会社は三十分の一ぐらいを募集する

質問(3)

- これからは紙が使用されなくなる時代は来るか
- プログラムは苦手だが「progate」はやって見たい
- ほとんどの仕事はAIにとってかわる
- ロボットは人の代わりになんでもできるか
- 新古卒：プライドが高い、自分勝手とかのイメージ
- 職場については知識を増やしたい
- 日本の企業形態で役職定年は厳しい。新しい形態が
- まだまだ会社に女性の進出が少ない
  - 日本は女性が出世しやすい社会になるか

質問(4)

- CCRCとRC
- アメリカのRCは日本では老人ホーム？
- 会社の悪口はSNSでも出て来るが本当のところは
- Amazonの社員はそんなに多いのか
- 士農工商メカ、ハード、ソフト
- ITは10%が鬱になる。そんなに大変な仕事か
- 働いた年数に見合ったお金がもらえないと意欲が
- アルバイトするときに、そこの悪口をネットで見てから
- ブラック企業の見分け方はわかりやすい
- ロボットが働いて人は何もしない
- 公務員で技術系は土木が上

質問(5)

- デザイン指向(思考?):ユーザに合わせて商品を作る
- 個性が強い人が雇ってくれる会社があるが、例えばどのような会社があるか
- 自分のやりたいことと仕事が繋がるのは難しい
- 機械ができるところと人間ができる範囲はあるか
- Appleの会社がまだ未完成
- 歯磨きの音を拾って情報を
- どうぶつの森はどれくらいやってますか

キャリアの探索と形成(1)

- キャリアを考える
- 1.自己探求
  - 自己理解、発達過程、能力開発
- 2.環境の検討
  - 仕事理解、組織理解
- 3.調和・意志決定
  - 目標設定、組織適応
- 4.行動
  - 機会開発、関係形成、変化対応

キャリアの探索と形成(2)

- ライフステージ論(ドナルド・スーパー(1910-1994))
  - 成長期
  - 探索期:14歳から25歳
  - 確立期:25歳から45歳
  - 維持期
  - 下降期(解放期)
- キャリアの定義(辞書)
  - (一生の)経歴、生涯、履歴
  - 生活手段:(生涯の、または専門的な)職業
  - (職業での)成功、出世
  - 進路、経路

キャリアの探索と形成(3)

- キャリア定義の4分類(Hall, 1976)
  - 昇進・昇格の累積としてのキャリア(地位・出世)
    - 組織のなかで
  - 専門職業としてのキャリア(専門職業)
    - 法律家、医師、学者、牧師
  - 生涯を通した一連の仕事としてのキャリア(職業経験)
    - 職業経験を通してのキャリア
  - 生涯を通じた様々な役割経験としてのキャリア(役割経験)

業界と職種

- 業界
  - 製造:素材、電機・機械、生活関連用品
  - IT・通信・インターネット、エネルギー、交通・運輸
  - 建設・不動産・住宅
  - 金融、流通・小売
  - サービス・レジャー・アミューズメント
  - マスコミ、商社・教育・人材・コンサルティング

業界と職種

- 職種
  - 営業
  - 事務・スタッフ関連職
  - 企画・マーケティング
  - 技術関連職:メーカー系
  - 技術関連職:IT・通信・インターネット系
  - 金融スペシャリスト
  - 流通・サービス関連職
  - 制作関連職

教科書「情報と職業」(オーム社)

- 1.情報社会と情報システム
- 2.情報化によるビジネス環境の変化
- 3.企業における情報活用
- 4.インターネットビジネス
- 5.働く環境と労働観の変化
- 6.情報社会における犯罪と法整備
- 7.情報社会におけるリスクマネジメント
- 8.明日の情報社会

働く環境と労働観の変化(1)

- 働く環境の変化
  - 企業のアイデンティティ
  - 個人のアイデンティティ
  - 専門性の向上と資格取得
    - 各業務のスペシャリスト(専門職)に vs ジェネラリスト(一般職)
  - 人事制度の変化
  - ビジネスのグローバリゼーション
    - vs 地域に特化したローカリゼーション
  - ビジネスのスピード化

働く環境と労働観の変化(2)

- 職場環境の変化
  - 在宅勤務
  - SOHO: Small Office/Home Office、サテライトオフィス
  - モバイルオフィス
  - コワーキング、コワーキングスペース
  - 自分の机のない職場
  - ラーニングコモンズ
- 仕事内容の変化
  - 販売員の存在意義
  - 中間管理職の存在意義：運用部門/会社と開発企画部門/会社
  - 電子メールやグループウェアによる社内コミュニケーション

働く環境と労働観の変化(3)

- 職場での情報リテラシー
  - パソコンでの文書管理能 → デザインや映像にも
  - パソコンのシステム管理 → クラウド利用とPC、タブレット、スマホに
- 情報化による業務内容の変化
  - 鉄道の改札業務
  - 銀行の窓口業務
  - 旅行代理店
- 企業の情報化と求められる人材の変化
  - 情報システムに対する基礎的な知識を将来を読む力
  - 企画提案力
  - プロジェクトを管理する力
  - 業務改善のための高い視点

教科書「情報と職業」(丸善)

- 1.情報化社会と職業
- 2.情報化社会と生活
- 3.情報社会と高等教育
- 4.情報技術と社会の改革
- 5.情報技術と人材育成
- 6.情報産業と国際化
- 7.情報技術とメディアの利用